



2月13日(土)の地震(震度6弱)について

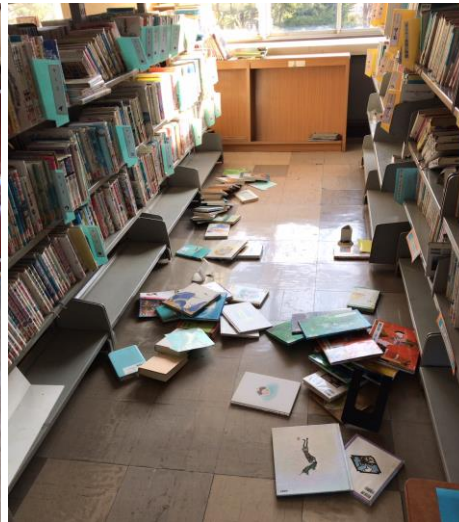
先月2月13日(土)の深夜、震度6弱の大きな地震が福島市を襲いました。相馬市や新地町、国見町では震度6強でした。かなりの大きさで、驚かれたと思います。そして、10年前の震災の恐怖を思い出した方も多かったのではないのでしょうか。

幸い、本校の校舎自体に大きな被害はなかったものの、図書室の本や、理科室・音楽室などの器具、各教室の学習用具が多数、散乱しました。(写真の通り)

地震が発生した直後、深夜にもかかわらず多くの職員が学校に来て、被害の状況を手分けして調べました。そして、翌日曜日の朝9時には全職員が集合し、後片付けを行いました。月曜日からは、通常通りの学校運営ができましたが、改めて本校職員の献身的な姿に校長として頭が下がる思いでした。保護者の方々にもお知らせしたいと思い、本日、学校だよりに載せました。



音楽室の楽器が転倒。壊れることはありませんでした。



図書室では、たくさんの本が床に落ち散乱しました。



理科室の実験用具などが床に散乱しました。

東日本大震災・原発事故の記憶を語り継ぐ!

東日本大震災と原発事故から10年が経とうとしています。今の6年生は、震災当時1、2歳でしたから、ほとんど記憶にはないでしょう。地響きとともに大きく地面がゆれたこと、地震の後に津波が来てたくさんの人たちが波にさらわれたこと、原発事故で建屋が水素爆発を起こしたこと、たくさんの人たちが福島から避難したこと…。あの当時の記憶を私たち大人は子供たちにきちんと語り継ぐことが大切だと思います。10年を契機にどうぞ、各家庭であの時のことを子供たちに語り伝えてください。そして、そこからどんな教訓が得られたのか、話し合ってみてください。



図書室の廊下には、震災コーナーが設けられ、震災当時の様子を知ることができます。

